

平成 20 年度 指定管理者施設管理評価シート

部 保健福祉部 課 高齢福祉課

施設名 橋場（旧今戸）老人福祉館 指定管理者の名称 社会福祉法人 台東区社会福祉事業団

1. 指定管理者の概要

①業務内容	台東区社会福祉事業団は、台東区の児童及び高齢者福祉の充実を図るため、台東区が出資して昭和 6 1 年 1 0 月に設立した社会福祉法人である。
②類似施設の管理実績	老人福祉センター・入谷老人福祉館・三筋老人福祉館
③経営状況	(19 年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入 2,401,341,470 円,歳出 2,355,808,519 円,収支差額 45,532,951 円 [公益事業特別会計]歳入 361,979,008 円,歳出 340,218,519 円,収支差額 21,760,489 円

2. 施設の概要

①所在地	台東区橋場 1-36-2 (20 年 9 月末までは台東区今戸 2-36-7)
②設置目的	地域の高齢者が、健康で明るく生きがいのある生活を送れるよう活動の場を提供する。
③利用者	区内に住所を有する 60 歳以上の者及び 60 歳以上の者で組織する団体
④開館日・開館時間	火曜日から日曜日 (20 年 9 月末までは月曜日から土曜日) 9 時から 17 時まで
⑤規模	延べ床面積 289㎡ 鉄筋コンクリート造地上 5 階のうち 4 階部分 教養室、囲碁将棋室、茶室、談話室など
⑥人員体制	常勤 1 名、非常勤 2 名

3. 事業（サービス提供）の概要

①委託事業	教養向上及びレクリエーション事業、個人・団体へ教養室等の開放、入浴サービス、防災訓練 等
②自主事業	口腔機能向上教室…口腔機能検査（お口の潤い・噛む力・飲み込む力等の検査）を実施。検査結果を基に個人ごとの検査結果評価を行い、参加者へフィードバックする。

4. 施設の稼働状況等

◆施設利用実績（年間）						◆健康づくり（介護予防）実績（年間）						
		男	女	計	月平均		教室名	開催数	参加延人員			
18 年度	個人利用	18,118	13,500	31,618	2,635	18 年度	笑顔のつどい	13	456			
	団体利用	2,065		2,065	172		健康体操	105	2,073			
19 年度	個人利用	18,951	14,519	33,470	2,789	19 年度	笑顔のつどい	12	433			
	団体利用	2,090		2,090	174		筋力向上トレ	10	106			
							脳トレ教室	20	621			
							口腔ケア	31	418			
							健康体操	1	43			
◆ことぶき教室実績（年間）												
		カラオケ	生花	民謡	フォークダンス	ヨーガ	演歌体操	脳活性化	書道	フラダンス	太極拳	自彊術
18 年度	開催数	21	10	10	10	10	10	10	—	—	—	—
	参加延人員	640	199	240	171	137	165	133	—	—	—	—
19 年度	開催数	20	9	10	—	—	—	—	10	10	10	10
	参加延人員	630	200	248	—	—	—	—	171	117	166	145

5. 予算決算の推移 (単位：円)

	年度	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	21 年度
予 算	指定管理料	35,063,000	35,882,000	29,970,000	22,463,000	
	料金収入等	0	0	0	0	
	管理経費	35,063,000	35,882,000	29,970,000	22,463,000	
決 算	指定管理料	33,230,000	25,095,452	23,754,694		
	料金収入等	0	0	0		
	管理経費	33,230,000	25,095,452	23,754,694		
	収 支	0	0	0		

6. 評価項目	3：期待以上の成果が見られる。 2：おおむね期待どおりの成果である。 1：さらなる改善が必要である。 -：評価対象外項目
----------------	---

評価の観点	評価項目	
①事業の運営 平均 [2.1]	(1) 施設の目的達成 [2] (2) サービス水準 [2] (3) 職員配置 [2] (4) 職員研修 [2] (5) 案内・接遇 [3]	(6) 開館時間等の遵守 [2] (7) 自主事業の成果 [2] (8) 個人情報保護 [2] (9) 緊急時対応マニュアル [2] (10) 警備・防犯体制 [2]
②施設の維持管理 平均 [2.0]	(1) 建物保守・設備機器点検 [2] (2) 備品の管理 [2] (3) 清掃・衛生管理 [2] (4) 施設の修繕 [2]	(5) 危険箇所等の確認 [2] (6) 管理記録の作成・保存 [2] (7) 業務委託の事前承認 [2] (8) 省エネ・省資源・環境配慮 [2]
③利用者の満足度 平均 [2.2]	(1) 利用者・第三者機関の評価 [3] (2) 苦情・要望への対応と報告 [2] (3) 利用者数の目標達成 [2]	(4) 利用しやすい環境整備 [2] (5) 関係団体・地域との関わり [2]
④歳入歳出 平均 [2.0]	(1) 適正な予算執行 [2] (2) 経費縮減のための取組み [2]	(3) 収支計画の達成 [2] (4) 利用料等の徴収・管理 [2]

7. 評価	A+ (良好)：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (妥当)：協定等の水準を満たす管理が行われている。 A- (課題あり)：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 B (要改善)：協定等の水準を満たしておらず、改善が必要である。
--------------	---

評価の観点	評価	説明
①事業の運営	A	事業の運営は、全体的に適切に実施されている。利用者の満足度調査では、接遇に対する評価が高い。
②施設の維持管理	A	各種保守点検及び清掃・衛生管理について、全体的に適切に実施されている。
③利用者の満足度	A+	全体的に利用者数が増加しており、利用者の満足度調査でもよい評価を得ている。関係機関との連携も含め、地域に根ざした事業を展開している。
④歳入歳出	A	予算については適切に執行されているが、引き続き運営経費の縮減にも努める必要がある。
⑤総合評価	A	施設の管理運営については全体的に良好であり、機能移転後も順調に事業運営がなされている。今後も引き続き良好な施設管理を維持していく必要がある。

8. 課題への対応等
<p>施設管理については適切に実施されており、利用者の満足度調査でもよい評価を得ている。機能移転後も順調に事業運営がなされているが、入浴サービスがなくなったため、介護予防の取組みを中心とした事業内容を引き続き充実させていく必要がある。</p> <p>今後も利用者から高い評価を得られる施設運営を継続していくとともに、サービス水準の向上に努めながら、老人福祉センターを中心施設として各館との連携及び一体的な事業運営を強化していく必要がある。</p>